



財務戦略

CFOメッセージ

人的資本、IT・DX、無形資産への投資促進により、企業価値の向上を実践します

私の役割は、財務・会計の専門家として、人的資本、IT、無形資産への投資を促進し、企業価値向上に貢献するとともに、発生リスクの予測と発生を抑制することで、健全な財務運営を実践することと考えています。日本は少子高齢化で労働人口の減少が進み、社会全体として人手不足が深刻化し、優秀な人材の奪い合いが激しくなっています。これからの経営にかかる大きなリスクの一つといえます。

このような社会状況におけるリスクを機会に変えていくために、コア事業のさらなる強化を基本軸として、新たな事業へ挑戦と、事業ポートフォリオの再構築を継続して行ってまいります。また、当社で働きたい、働き続けたいと思ってもらえるための人的資本経営、生産性の向上を図るDX推進、IT、ブランド等無形資産へ重点的に投資し、中長期的な成長力を高めていく所存です。



岡本 司
取締役 上席執行役員
管理本部長 CFO

財務戦略の基本的な考え方

当社グループは、持続的な利益成長と資産の有効活用によるキャッシュ・フローの創出、事業特性やリスクをふまえた安定した財務基盤の維持、および財務ガバナンスの強化を掲げ、健全な財務運営を継続していきます。

① 事業による収益

財務パフォーマンス

② 安定した財務基盤

③ 株主還元

キャッシュ・アロケーション

④ 成長投資

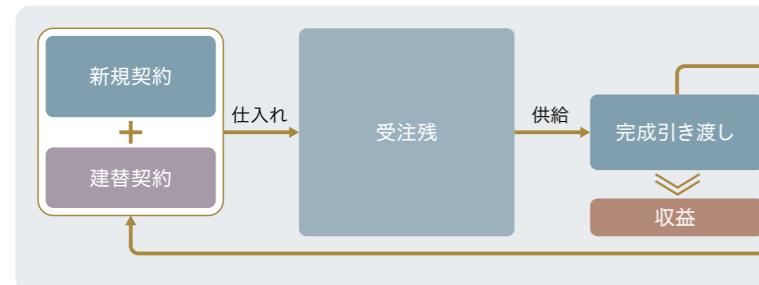
財務パフォーマンス

① 事業による収益

当社グループのコア事業である建設事業と不動産事業は、それぞれ異なるビジネスモデルにて成り立っています。建設事業は、土地オーナー様との請負契約を、建物の完成引き渡しまで受注残として管理し、完成引き渡し時に売上・利益へ計上される「フロー型」のビジネスモデルです。一方、完成引き渡し後にスタートする不動産事業は、一括借上げや

入居者斡旋、管理・運営によって売上・利益が毎年創出される「ストック型」のビジネスモデルとなります。今後は、建物の老朽化等による建替契約が増加すると想定され、フローとストックの循環によって創出される安定的な収益の拡大が見込まれます。

■建設事業（フロー型）



■不動産事業（ストック型）

